

# 美術教室ライブハウス 生活介護事業所アトリエライブハウス

美術教室ライブハウスは、2008年に東大阪市で障がい者と健常者がアートを本格的に学べる場として設立しました。現在、7才から60代までの障がい者と健常者の37人が共にアートを学んでいます。作品制作、展覧会活動、作品販売等のプロモーションを主な活動としています。2015年に同じく東大阪市に生活介護事業所アトリエライブハウスを設立。様々な障がいの方々23人が通所されています。生活面のサポート、作品制作、展覧会活動を中心としています。また、他団体、自治体の展覧会アドバイザーも行っています。

障がいのある方々にアートを生涯教育として学んでもらい、その中からライフワークの構築、プロのアーティストを目指して、各々の人生の目標に向かって行ってほしいという願いが美術教室ライブハウス、アトリエライブハウス共通の思いです。



アトリエライブハウス

東大阪市荒川3-8-8 TEL 06-7161-7624 ホームページ <https://www.atelierripehouse.com/>

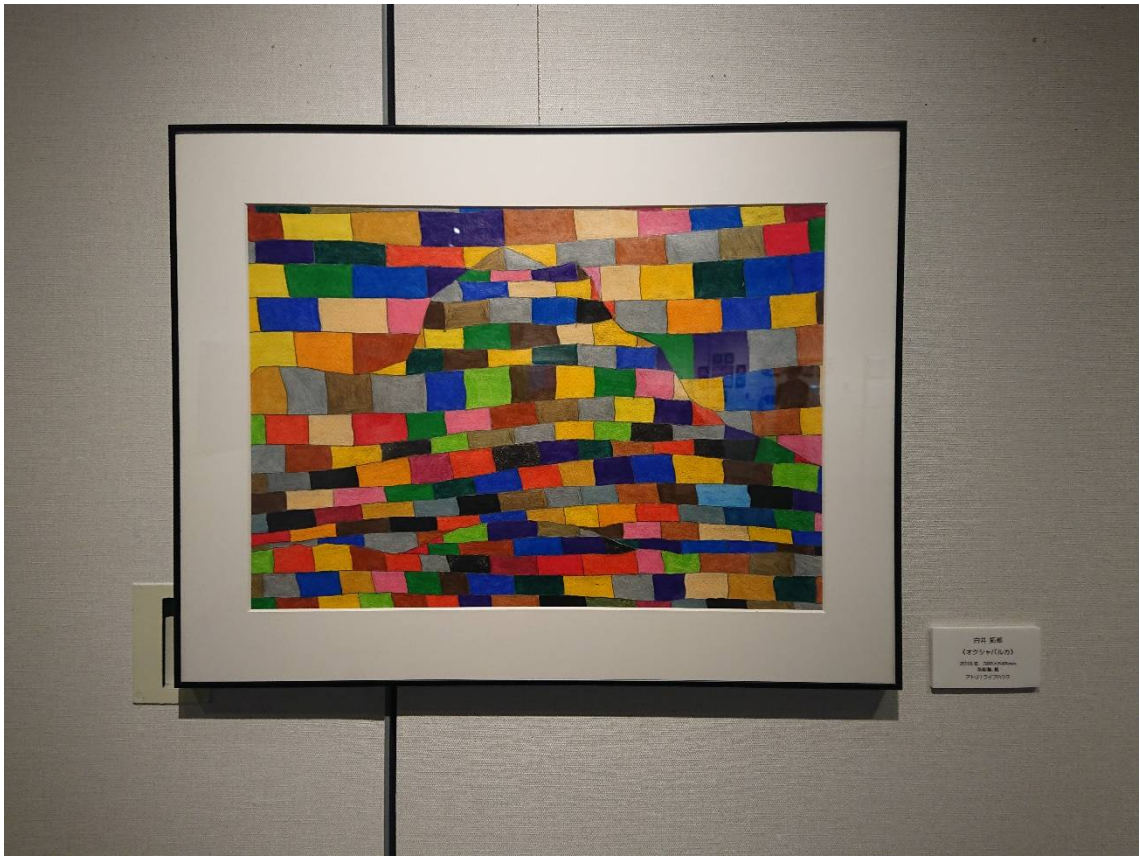
## 白井 拓郎

[アトリエライブハウス]

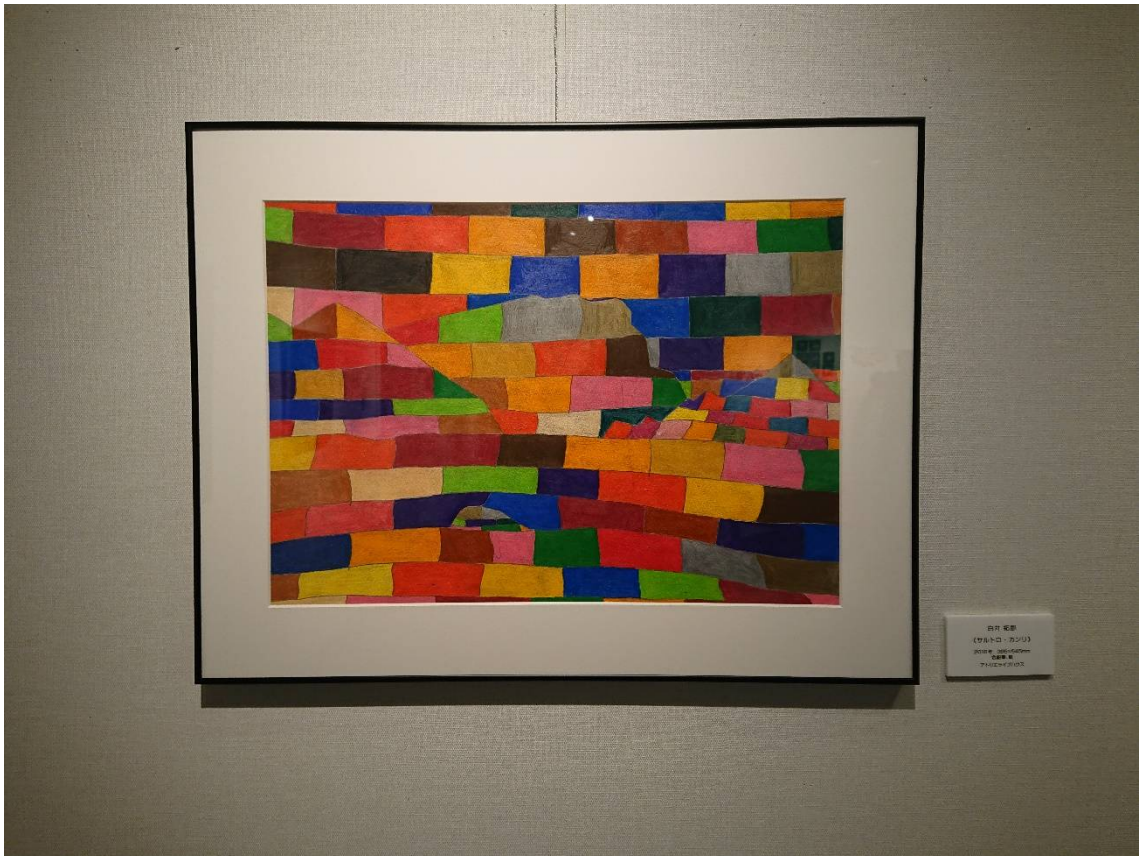
白井拓郎さんは自閉症の男性です。近年は、世界の山の写真集からモチーフを選んでいきます。写真集から選んだ山の画像を一旦、画用紙にエスキースを作り、エスキースを見ながらキャンバスに本画（アクリル画）を描くという行程で制作しています。エスキースの段階で山の画像が、細かく塗り分けられた色面に変化をし、エスキースから本画に起こす段階で、より山のイメージがなくなり、色面の構成と変化して行きます。本画（アクリル画）は、アクリル絵具を薄くうすく塗り重ねて、何層もの色彩で塗り重ねて行きます。そのため、画面が深みのある色彩に変化し重厚な画面へと変化します。丹念な筆使いと重厚な色彩が、白井拓郎さんの作品の魅力となっています。白井拓郎さんは18年間、大阪にある美術教室に通い絵画を学んでいます。彼は、今までに多くの展覧会、個展を催しています。「僕はプロの画家になるんだ」と日頃からよく話しています。



白井 拓郎  
《デレツァン》  
2019年 980x800mm  
アクリル画



宮城 美樹  
《カラフルなモザイク》  
2018年、油彩、紙  
150×150cm



宮城 美樹  
《カラフルなモザイク》  
2018年、油彩、紙  
150×150cm



小島 清正  
『しのぶの国』  
1971年  
油彩、キャンバス  
100×100cm



小島 清正  
『しのぶの国』  
1971年  
油彩、キャンバス  
100×100cm